

## 震災復興支援活動の記録

住所 ※①市町名は公開させていただきます	〒 (事務局記入欄)	
	(①市・郡・町) 伊丹市	
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	荒牧夢のまち応援団	
活動の内容 (名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど)	震災直後神社に赴くと、たんじりが潜れるほどリッパの鳥居が無残にもくずれ落ち大きな残骸を横たえていた。それをかたおけながら捨てればただのゴミ。何とか残す方法は、と考えたあげくモメントに出来ないだろうか。神社の片隅に積み上げた。数年内に設計図も見ず書きも出来なかったが肝心の費用の出どころが無い。来年で十年を迎える本年初めその費用も旨め話しが。とんとん拍子に進んでリッパに完成出来る事は誠に不思議でモメントがこの期を待っていたかの様に思える。工事の完成には延べ70人以上のボランティアの協力がえられた事にほみならずうれしさかこみあげる。	

# 震災復興支援活動の記録

<p>住所</p> <p>※①市町名は公開させていただきます</p>	〒	(事務局記入欄)
	(①市・郡・町)	伊丹市
	(②区・町・字)	
	(③丁目・番地等)	
	(④TEL)	
氏名 団体名	高橋慶子 社団法人兵庫県看護協会「まちの保健室」事業	
<p>活動の内容</p> <p>名称 期間 場所 具体的内容 うれしかったこと 困ったことなど</p> <p>約300字位 約400字位</p>	<p>私は、平成12年から復興住宅で「まちの保健室」という健康相談などの看護ボランティア活動を4年近く行ってきました。活動当初は、震災から5年もたち、町並みは復興を遂げ、立派な高層近代建築の住人に必要とされるのだろうかという想いが強かったように記憶しています。</p> <p>訪れてみると、暗い表情の方が多く、復興住宅では高齢化が著しく、集会所では毎月のように葬儀が行われ、次は自分の順番ではと不安を抱え、相談する人もなく毎日を過ごしている高齢で独り暮らしの方が多くに驚きました。</p> <p>月3回の活動ですが、「まちの保健室」で友達になったり、楽しみをみつけたり、少しずつ笑顔がみられるようになりました。「死ぬまで元気」を合い言葉に『終の棲家』である復興住宅で、生きがいを見つけ、人生を全うして欲しいと願っています。震災から10年たちますが、これからも看護ボランティアを続けていこうと思っています。</p>	